

つくばで輝く研究者

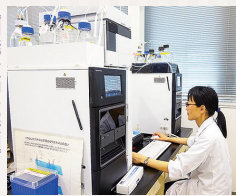
MARUMO ai **丸茂 愛さん**

株式会社バスクリン 製品開発部 開発3グループ リーダー



研究所内「生薬棚」の前で

山梨県出身。東邦大学薬学部卒業、同大学薬学院薬学研究科修了。2001年株式会社ツムラ入社。06年、分社化により株式会社バスクリンに。現在は同社つくば研究所で、女性向け育毛剤やシャンプーなどの頭髪関連製品、美白スキンケア製品に配合する素材の開発を行っている。



研究開発の風景

「開発で悩み解消」

育毛剤やシャンプー、美白剤などのスキンケア製品の開発する生薬エキス入の開発を行っている。生薬を選定し、オリジナル抽出液を作成し、最も効果がある抽出方法を確定させることと共に抽出液の安定性確認、規格設定なども実施する。約10年かかるといふ研究開発には、検討「工夫・根気」で臨む。所内は広い部屋に各部署の研究者が壁なしで配置されたオープンラボスタイル。研究に行き詰まっても、周囲に気軽に相談できる好環境に感謝しています。番やりがいを感じるのには「お客さまから満足の感想が寄

せられた時ですね。誰かの悩みを解消する、役に立つ。研究の喜びはそれに尽きます」。

「薬剤師から研究者へ」

山梨県山梨市生まれ。小さい頃から好奇心旺盛だった。小学生のころ取り組んだ研究は、何でも落ちる液体開発。「薬剤を混ぜたらどんな汚れも落ちる液体が作れるのでは」という仮説を立て、シャンプーや食器用洗剤などを比率を変えながら配合。結果は「世界に二つしかない万能？洗剤剤が完成しました。パレットに染み込んだ絵の具がきれいに落ちる液体です。うれしくて小瓶に詰めて持ち歩きました」。いつしか薬剤師が憧れの職業になり、薬学部に進学。物理分析学教室で生

発にまい進すること20年。今後の目標は、主力商品である入浴剤配合素材の開発。当社所属の研究者として、いつか挑戦してみたいです」

「つくばの暮らし」

ストレス解消法はもうぱらテニス。部長を務めた高校時代に県大会にも出場した本格派で、「ブレー」後のお風呂とセットで楽しんでいきます。凝り固まった頭と体がほぐれる気がしてスッキリします。息子が小さい頃よく訪れたさくら交通公園や昼休みに仲間とキャッチボールを楽しむむの宮公園など、のんびりスポーツも大切にしている。研究所が林立しつつ、整備された公園も豊富。つくばはバランスが良く気に入っています」

抗酸化成分の探索研究に遭遇し、夢に職に夢がシフトしました。ツムラ(当時)に入社し、生薬100%の育毛剤など悩み解消目的の開



息子と訪れた
日上市の「日本一長い滑り台」